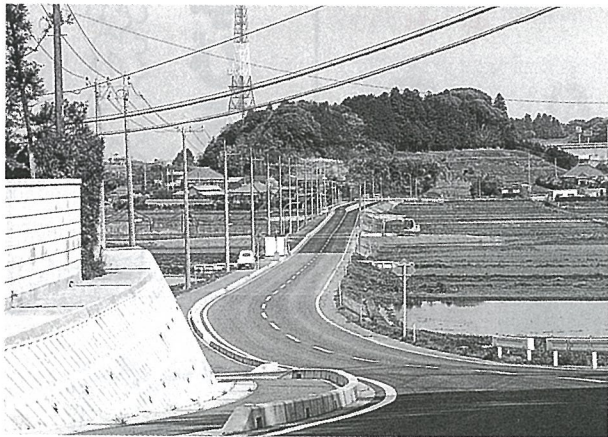


日吉・南条地区を縦断する道路完成！



道幅も広がり、りっぱに完成した町道0103号線（小川台地先）

母子地先の旧国道から、篠本地先の県道八日市場八街線を結ぶ町道0103号線2,537メートルの道路改良工事が3月完成しました。

この工事は、昭和63年の着工から10年の歳月と6億7,100万円の費用を投じ、町の縦断道路整備の一環として整備したものです。

この工事の実施にあたり、用地買収にご協力いただいた73名の地権者の方々と関係者の方々に心から感謝申し上げます。

また、この工事とあわせて、日吉地区と南条地区の間を流れる通称連合排水に架けた橋の名称も、小中学校の児童、生徒を対象に募集した結果、日吉の「日」と南条の「南」とをとって、「にちなんぼし」とした作品が選ばれ、命名されました。

みなさんの貴重な税金で整備された道路です。たいせつに使ってください。

今年1月、区民の手により東栄寺境内の倒れた杉の木が片付けられました。また、3月19日には、檀

入区民の手で 桜の木植樹



入区のみなさん

家総代から寄附された桜の木が植えられました。これから、毎年花をつける私たちの目を楽しませてくれることと思います。

通信員 行木好子（入）



お年寄りも大喜び

3月15日、春の午後のひととき、白浜地区婦人会の皆さんが光栄園老人ホームを訪れました。華やかな衣裳を身につけ、歌や踊りを披露、大勢集まったお年寄りの皆さんも大変喜んでいました。

通信員 佐瀬智子（関）

大勢で賑わった 春季例大祭

産土神（うぶすなさま）と親しみ敬われている宮川の熊野神社（県規範神社、元郷社・藤城吉董宮司）恒例の春季例大祭が3月15日行われました。

氏子総代ら関係者40人が袴装束で、天狗と神樂師が先頭の神主に随行して参進する「お成り」に始まり、昇殿正座、斉主（宮司）祝詞奏上、続いて玉串が奉げられました。

境内では宮内神楽保存会

きれいに植栽された

成田山御本尊上陸地

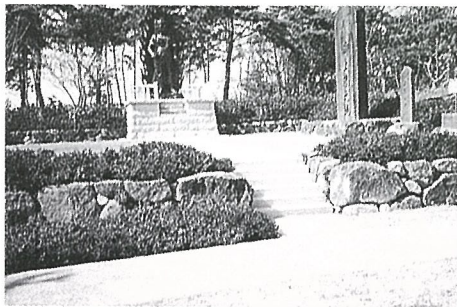
尾垂浜の成田山新勝寺御本尊不動明王の上陸記念碑境内（600平方メートル）の浪切り不動明王像建立と境内の整地、植栽がこのほど終わりたいへんきれいになりました。

浪切り不動明王像は、本山八街分院高山照襄住職ほか檀信徒10人の寄進、原型制作者は日彫会会員田畑功氏で青銅製一部本金張り、高さ4・5メートルのたいそう大きな像です。



の神樂が奉納され、大勢の参拝者で賑わいました。

通信員 山辺光男（木戸）



通信員 山辺光男（木戸）